

平成30年度 事務事業評価表

8899
一般会計

事務事業名	秘書事務			
事務事業担当	部名	課名	担当名	責任者
	市長室	秘書総務課	秘書係	富田 仁

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	目標の実現に向けて・人財を活かした行政経営		
	個別目標	職員の能力向上		
	めざす成果			
根拠法令	名称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対象	総事業費 (単位：千円)			
市長、副市長		29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）
	事業費	3,423	2,963	4,466
	人件費	35,224	35,434	39,882
目的	総事業費	38,647	38,397	44,348
市長、副市長の円滑な活動を補佐します。	31年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 市長、副市長の秘書事務を行います。	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	4,466		
	合計	4,466		

3. 活動内容

活動指標1	名称	日程管理件数			単位	件
	内容説明	公務日程を調整し管理した件数				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予定	9,500	9,500	10,500	
実績	14,157	13,829	---			
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予定				
実績			---			
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予定				
実績			---			
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予定				
実績			---			
課題	特にありません。					

4. 今後の方針等

今後の方針等	28年度	I：現状のまま継続	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続
	市長及び副市長の円滑な市政運営のサポートができています。今後も、良好な執務環境を提供できるよう努めます。					

平成30年度 事務事業評価表

8900
一般会計

事務事業名	「市長が語る大和市」開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市長室	秘書総務課	総務・調査係	富田 仁

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	目標の実現に向けて・分かりやすい行政経営		
	個別目標	相互理解に基づく行政経営		
	めざす成果			
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成12年度			設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象	総事業費 (単位：千円)					
自治功労者、元市長・助役・副市長、元町・市議会議員、行政委員会委員、自治会長、地区社会福祉協議会会長、NPO法人代表、市財団等の理事、市内小中学校長等	29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）			
	事業費 14	14	14			
	人件費 737	741	741			
目 的	総事業費 751	755	755			
市政運営に対する理解を深めていただくため、市長による市政報告会を開催します。	31年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金	0	0			
手段、手法【実施手法：直営】 対象者に参加を依頼し、市長が当該年度の施政方針に基づき主要な事業や予算を分かりやすく説明します。	県支出金	0	0			
	市債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	14	14			
	合 計	14	14			
3. 活動内容						
成 果（効果・予測） 施政方針に基づいた主要な施策や予算の説明を実施することで、参加者に対し市政への理解を深めていただき、円滑な市政運営の実施に寄与します。	活動指標 1	名称	参加者数	単位	人	
	活動指標 1	内容説明	市長が語る大和市に参加した人数			
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度	
			予 定	300	300	300
			実 績	293	428	---
課 題 特にありません。	活動指標 2	名称		単位		
	活動指標 2	内容説明				
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度	
			予 定			
			実 績			---
活動指標 3	名称		単位			
	活動指標 3	内容説明				
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度	
			予 定			
			実 績			---
活動指標 4	名称		単位			
	活動指標 4	内容説明				
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度	
			予 定			
			実 績			---

4. 今後の方針等				
今後の方針等	28年度	I：現状のまま継続	29年度	I：現状のまま継続
	30年度	I：現状のまま継続	参加者に対し市政への理解を深めていただき、円滑な市政運営を実施するため、継続していきます。	

平成30年度 事務事業評価表

8901
一般会計

事務事業名	表彰事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市長室	秘書総務課	総務・調査係	富田 仁

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	目標の実現に向けて・分かりやすい行政経営		
	個別目標	相互理解に基づく行政経営		
	めざす成果			
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和38年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
主に市政振興に寄与し、または広く市民の模範となる行為をした人・団体を対象としています。		29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）
	事業費	1,101	1,651	1,458
	人件費	4,642	4,670	6,153
目 的	総事業費	5,743	6,321	7,611
対象者の功績を称えます。	31年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 ・功績を称え表彰を行います。 ・国、県等が行う各種表彰に伴う推薦を行います。 ・各種団体の大会等における市長賞を交付します。		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,458
		合 計		1,458

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	表彰条例にもとづく表彰者数			単位	人
	内容説明	表彰者数				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定	25	25	25	
	実 績	14	28	---		
活動指標 2	名称	国・県及び各種団体への推薦件数			単位	件
	内容説明	推薦件数				
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定	6	6	6	
	実 績	5	3	---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		29年度	30年度（当該年度）	31年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	特にありません。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	28年度	I：現状のまま継続	29年度	I：現状のまま継続	30年度	I：現状のまま継続
	今後も現状を維持し、対象となる個人あるいは団体について遺漏なく顕彰することを目指します。					

平成30年度 事務事業評価表

24210
一般会計

事務事業名	調査事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市長室	秘書総務課	総務・調査係	富田 仁

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	目標の実現に向けて・人財を活かした行政経営		
	個別目標	職員の能力向上		
	めざす成果			
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市長、副市長		29年度（決算額）	30年度（決算額）	31年度（予算額）	
	事業費	180	3	577	
	人件費	6,779	6,820	8,303	
目 的	総事業費	6,959	6,823	8,880	
市長及び副市長の円滑な活動を補佐します。	31年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 市長または副市長の指示により政策先進事例等の調査を行います。	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	577			
	合 計	577			
3. 活動内容					
成 果（効果・予測） 市長、副市長に、円滑な政策判断のための執務環境を提供します。	活動指標 1	名称	特命調査件数	単位	件
		内容説明	市長及び副市長から特命を受けた調査の件数		
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度
			予 定	3	3
			実 績	3	3
課 題 先進事例を本市市政にフィードバックするためには政策担当部との調整が必要です。	活動指標 2	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度
			予 定		
			実 績		
	活動指標 3	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度
			予 定		
			実 績		
	活動指標 4	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	29年度	30年度（当該年度）	31年度
			予 定		
			実 績		

4. 今後の方針等				
今後の方針等	28年度	I：現状のまま継続	29年度	I：現状のまま継続
		政策課題の解消にむけた調査業務を、引き続き遂行します。		
	30年度	I：現状のまま継続		